



公益財団法人天野工業技術研究所

Amano Institute of Technology

代表者 理事長 川幡 長勝、所長 天野 仙太
所在地 〒431-1305 静岡県浜松市北区細江町気賀 7955-98
人 員 14名(うち研究員3名)

設立 昭和36年3月9日
電話 053-523-1171
FAX 053-523-0556
HP <http://zai-amano.or.jp/>

[はじめに]

当財団は、アマノ株式会社の創業者、故天野修一氏(昭和51年12月没、享年86才)がその生前昭和36年に工業技術に関する研究開発、研究助成ならびに工業教育の奨励を目的として、私財を投じて設立した試験研究法人である。設立以来横浜市にて事業活動を行ってきたが、昭和54年10月奥浜名湖畔の当地に移転し、平成25年4月1日から公益財団法人として、再スタートした。

[事業概要]

事業活動は公益事業として試験研究事業、研究助成事業並びに奨学事業を実施。また、試験研究事業により実用化された技術の普及を行う収益事業を行っている。

[試験研究事業]

設立以来、時代のニーズを先取りして大気汚染防止、火災予防、騒音振動防止、身障者用機器など公害防止、社会福祉、省力化、代替エネルギーなどに係わる幾多のテーマに取り組んできた。近年は微粒子、粒子挙動、ウイルス除去、環境システム、発電素子、材料評価等に関するテーマについて大学との共同研究を中心に実施している。

[研究助成事業]

大学またはそれに準ずる研究機関に在籍する若手研究者を対象として工業技術に関する研究に対して助成を行っている。また、令和4年度からは工業高校教育の発展のため、学校等団体や学科等グループに対し教育研究や教材研究のための助成事業を開始した。

[奨学事業]

理工系大学院後期博士課程の学生に対し、1年次から3年次までの3年間奨学金を給付している。また、全国高等専門学校生並びに神奈川、静岡、三重県下の工業高等学校の生徒の主に最終学年に在籍する生徒を対象として、奨学金を給付している。

[予算]

年間の総事業費は約340,000,000円、うち公益目的事業費(研究開発費、研究助成金、奨学金)は、約287,000,000円である。(令和4年度)

[所外への研究発表]

年一回「年次報告」を発行し、関係各方面に広く配布している。また、秋には浜松で天野フォーラムを開催し研究助成や奨学事業の成果発表を行っている。

[おわりに]

今後、当財団が公益のための試験研究法人として、工業技術の発展に寄与すると共に、助成・奨学事業による人材育成等、より一層社会に貢献できるように努めてまいりたいと思います。

